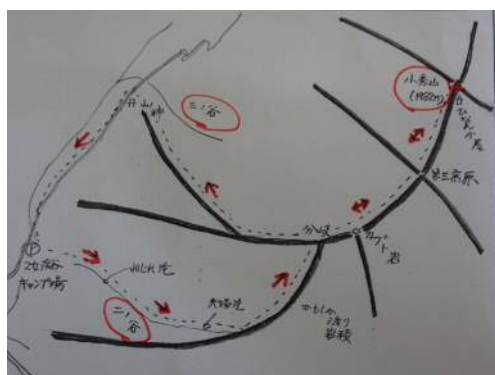


小秀山・1982m

2020年10月18日～19日

L: 磯部規・服部文鳥・カワセミ

中津川市のはずれにある小秀山は、紅葉で有名な乙女溪谷から二の谷コースを登って、尾根につけられたジグザグの三の谷コースを下るのが一般的だ。



二の谷コースは、木製の階段が溪谷沿いに整備されてはいるが、何度も豪雨にながされたり、落石で倒壊したりして通行止めになることもあるので、山行前には確認が必要だと思う。

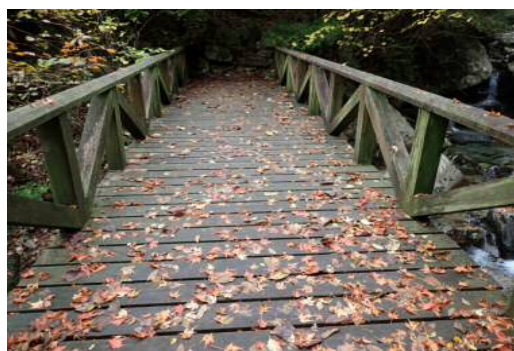


乙女溪谷の入口



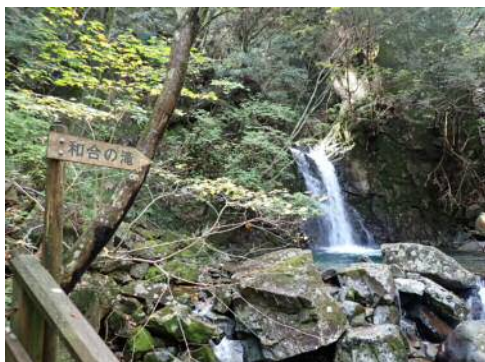
木製の階段

前日の雨で、遊歩道はかなり濡れていて、とても滑りやすい。足元を気にしないと転びそうで、景色を見るにもなかなか難しい。



遊歩道の落ち葉

階段が途切れて、自然の登山道になるとほっとするものの、かなりの急登が続く。木の階段、急登を何度も繰り返して高度を稼いでいく。



連続する和合・夫婦・子・孫滝
孫滝で、登山道は、沢から離れるので、
水を一人、1・5l以上を汲んで担ぎ上げる
ことにする。

尾根に取り付いてしばらくすると、岩
稜が出てくる。



カモシカ渡り



下部から見たカモシカ渡り

有名なカモシカ渡りは、下部は木の
根が手がかり、足がかりになるので楽に
登れたが、上部は4m程の大岩が壁のよ
うに立ちはだかるので、重い荷を担いだ
身には大変だった。

ここから、しばらく岩稜が続くが、や
がて道がなだらかになると三の谷との合
流地点で、ようやく主稜線に入った。

兜岩を超えると前方に御嶽山が見えだ
した。

登山道も第1・第2高原と展望もある気
持ちの良い縦走路へと変わった。



第1高原(上)と頂上避難小屋(下)



小屋が見えて、元気が出た。

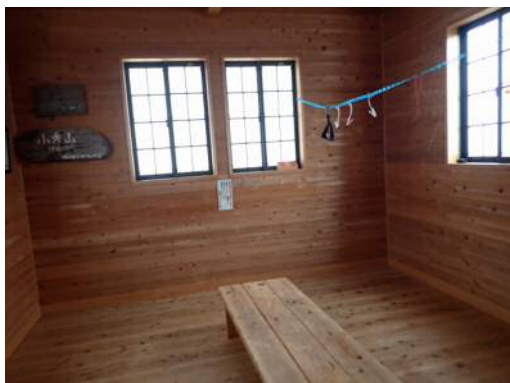


平成 22 年に造られた

午後 3 時半前に小屋へ着いた。本日の目的はこの小屋に泊まることだったので、たどり着けて嬉しかった。

頂上まで来るのは二回目だが、前は 30 年近く前なので避難小屋も頂上からの大展望も無かった。

なので、是非とも来てみたかった。



清潔な小屋の内部

小屋はまだ、木の香りがしている。バイオトイレもあり、部屋は 2 つ。詰めれば、10 人くらいが泊まれそうだ。

荷を置いて、小屋から一分の頂上へ向かう。

昨日は冷えたので、雪を被った真っ白な御嶽がドカーンと見えた。



1 9 8 2 m ・ 小秀山



御岳

翌朝は、6 時起床。

ゆっくり、コーヒーを飲んで、景色を楽しんで、三の谷コースを下った。

